



2025年12月24日

各 位

会 社 名 サッポロホールディングス株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 時松 浩
コ ード 番 号 2501
上場取引所 東証プライム・札証
問 合 せ 先 経営企画部長 中村 洋輔
T E L 03 (5423) 7407

通期業績予想の修正及び報告セグメントの変更に関するお知らせ

サッポロホールディングス株式会社（以下、「当社」といいます。）は、本日の適時開示「不動産事業への外部資本導入に伴う連結子会社の異動に関するお知らせ」のとおり当社の完全子会社であるサッポロ不動産開発株式会社への外部資本導入に係る一連の取引に関する契約の締結（以下、「本件」といいます。）に伴い、「2025年12月期連結業績予想の修正」及び「2025年12月期より報告セグメントの変更」をすることとしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正

（1）2025年12月期連結通期業績予想数値（2025年1月1日～2025年12月31日）

	売上収益	事業利益	営業利益	当期利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的1株当たり当期利益
前回発表予想（A）	百万円 523,000	百万円 29,500	百万円 27,800	百万円 16,500	百万円 16,500	円 錢 211.62
今回修正予想（B）	501,800	22,500	21,100	16,500	16,500	211.62
増減額（B-A）	△21,200	△7,000	△6,700	—	—	
増減率（%）	△4.1	△23.7	△24.1	—	—	

- (注1) 2025年12月期第4四半期連結会計期間より、不動産事業は非継続事業に分類いたします。これにより今回修正予想（B）において、売上収益、事業利益、営業利益は継続事業の金額を表示し、当期利益、親会社の所有者に帰属する当期利益、基本的1株当たり当期利益は継続事業及び非継続事業の合算を表示しております。
- (注2) 非継続事業の分類に伴う前期実績（2024年12月期）遡及修正後の数値は精査中のため記載を省略しております。
- (注3) 当社は2025年11月12日開示の「株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更に関するお知らせ」に記載のとおり、2026年1月1日を効力発生日として普通株式1株につき5株の割合で株式分割を実施いたします。今回修正予想の基本的1株当たり当期利益は株式分割前の数値を表示しております。

2. 修正の理由

本件を踏まえ、IFRS 第 5 号「売却目的で保有する非流動資産及び非継続事業」に基づき不動産事業が非継続事業として分類され、売上収益、事業利益、営業利益は前回発表予想を下回る見込みとなります。当期利益及び親会社の所有者に帰属する当期利益、基本的 1 株当たり当期利益に変更はありません。

なお、本件による当期連結業績への影響は軽微です。

また、2025 年 12 月期の配当予想 1 株当たり 90 円から変更はありませんが、配当方針については、本日開示の「配当方針の変更に関するお知らせ」をご参照ください。

不動産事業の非継続事業への分類における連結業績予想への影響

	売上収益	事業利益	営業利益	当期利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的 1 株当たり当期利益
今回修正予想 (A)	百万円 501,800	百万円 22,500	百万円 21,100	百万円 16,500	百万円 16,500	円 錢 211.62
不動産事業の非継続事業への分類 (B)	21,200	7,000	6,700	—	—	—
(ご参考) 通期業績予想 (A) + (B) (注 4)	523,000	29,500	27,800	16,500	16,500	211.62
(ご参考) 前期実績 (C) (注 4)	530,783	22,038	10,416	7,771	7,714	99.00
増減額 (A) + (B) - (C)	△7,783	7,462	17,384	8,729	8,786	

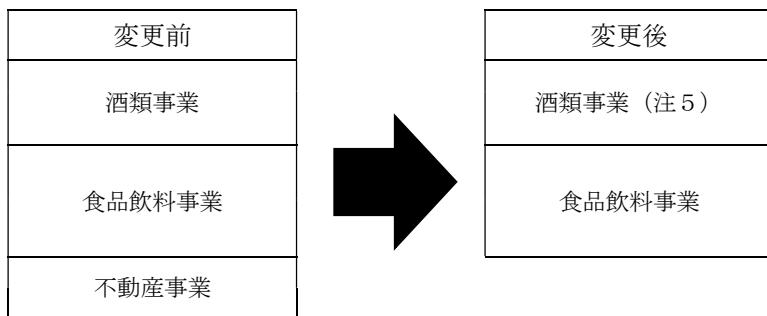
(注 4) 不動産事業の非継続事業への分類前の数値を表示しています。

3. 報告セグメント変更について

(1) 変更の理由

本件を踏まえ、当第 4 四半期連結会計期間において「不動産事業」を非継続事業に分類し、報告セグメントから除外いたします。また、恵比寿ガーデンプレイスの信託受益権の 30%、GINZA PLACE、サッポロガーデンパークの一部においては、酒類事業の顧客接点を通じたブランド体験強化という事業方針及び将来のバリューアップ等により最大価値の実現を見込む戦略に沿って不動産事業から酒類事業に移管いたします。

(2) 変更の概要



(注5) 恵比寿ガーデンプレイスの信託受益権の30%、GINZA PLACE、サッポロガーデンパークの一部においては、不動産事業から酒類事業に移管いたします。

(3) 変更の時期

2025年12月期より変更いたします。

※将来に関する記述等についての留意事項

上記の予想に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる場合があります。開示すべき事項が発生した場合には、速やかに業績への影響をお知らせいたします。

以上



SAPPORO

適時開示補足説明資料

2025年12月24日

サッポロホールディングス株式会社(2501)

URL: <https://www.sapporoholdings.jp>

不動産事業の非継続事業への分類に伴う影響(概要)

» 不動産外部資本導入によりセグメント変更が発生。2025年Q4より不動産事業は非継続事業へ分類



<不動産外部資本導入に伴うセグメント変更>

- ①不動産事業はIFRS上の非継続事業に分類されることとなり、売上・利益から除外
(→2025年Q4より不動産事業は報告セグメントから除外される)
- ②不動産事業の資産のうち、当社グループに残る一部資産は酒類事業(国内酒類)へ移管され、
酒類事業(国内酒類)にて売上・利益を計上

※不動事業の非継続事業への分類による影響額(修正計画ベース)

(億円)	①	②	合計
売上収益	▲275億円	+63億円	▲212億円
事業利益	▲95億円	+25億円	▲70億円

- » 不動産事業の非継続事業への分類に伴い、売上収益及び利益の見通しを修正
- » 実質的には2025年11月公表の修正計画から変更無し(⇒親会社当期利益及びROEは変更無し)

(億円) (不動産事業の非継続事業への分類)	2025修正計画		増減
	変更後	変更前	
売上収益	5,018	5,230	▲212 ▲4.1%
EBITDA	400	517	▲117 ▲22.7%
事業利益 (売上収益-売上原価-販管費)	225	295	▲70 ▲23.7%
営業利益	211	278	▲67 ▲24.1%
継続事業からの当期利益	122		
非継続事業からの当期利益	43		
親会社の所有者に帰属する当期利益	165	165	-
ROE	8.0%	8.0%	-

» 不動産事業の非継続事業への分類に伴い、売上収益及び事業利益を修正

売上収益(億円) (不動産事業の非継続事業への分類)	2025修正計画		増減
	変更後	変更前	
酒類事業	3,963	3,900	+63
国内酒類	2,883	2,820	+63
海外酒類	865	865	-
外食	215	215	-
食品飲料事業	1,055	1,055	-
国内食品飲料	800	800	-
海外飲料	255	255	-
不動産事業	-	275	▲275
その他/その他・全社	-	-	-
連結	5,018	5,230	▲212

事業利益(億円) (不動産事業の非継続事業への分類)	2025修正計画		増減
	変更後	変更前	
酒類事業	269	244	+25
国内酒類	250	225	+25
海外酒類	0	0	-
外食	20	20	-
食品飲料事業	42	42	-
国内食品飲料	29	29	-
海外飲料	13	13	-
不動産事業	-	95	▲95
その他/その他・全社	▲85	▲85	-
連結	225	295	▲70

潤いを創造し 豊かさに貢献する



本資料は、投資判断の参考となる情報提供のために作成されたものであり、投資勧誘又はそれに類する行為を目的としたものではありません。
また、本資料に記載された業績予測ならびに将来予測は、資料作成時点での弊社の判断であり、潜在的なリスクや不確実な要素が含まれています。
従って、将来実際に公表される業績等は、本資料に記載されている内容とは大きく異なる結果となる可能性があります。
弊社は、本資料の情報を使用されたことにより生じるいかなる損害についても責任を負うものではありませんので、ご了承ください。